

平成19年7月1日

(第64号)

# 鵜 戸

暑中お見舞い申し上げます

鵜戸神宮ホームページ <http://www.btm.ne.jp/~udojingu/>

発行者兼編集者  
鵜戸神宮社務所



# 暑中お見舞い申し上げます



宮司 杉田秀清

暑くなりましたが、皆様にはお変わりなく益々々々清栄の事と申し上げます。

さて、徳富蘆花は熊本県出身で、明治から大正にかけて一世を風靡した小説家です。

「不如帰」(ほととぎす)や「自然と人生」を発表し人々に膾炙された方です。

この紀行文は、今より九十五年前の大正二年九月、妻子と共に馬車や舟を乗り継ぎ、七浦七峠では足を引きずる徒歩の旅でした。

「鵜戸窟」には、蘆花の感性豊かな鵜戸の印象が描かれていきます。作品を尊重し、原文のまま掲載致しました。

鵜戸の自然は、今も昔も



# 鵜戸窟

## 徳富蘆花

九月二十二日の朝早く起き、宿の主婦が案内で鵜戸神宮に参詣。潤葉常緑樹の小暗い山を刻んだ高い高い石段を上り切つて、石畳を鋪いただらけ下りの八丁坂を東へ下る。海の音が太鼓など打つ様に響いて来る。

やがて日向表の太平洋が現はれる。崖にさしかか、つた雄大な雄松の間から、瑞々しい朝日が今しも洋を離れて一道の白金を洋の只中に爛らし、脚下に出没する巨岩にぶつかって、白金の煙を飛ばして居る。朝の日の匂、海の香、松の香の溢る、瀟氣を吸ふて、ぼつちりと目がさめて来る。

東に下り切ると、玉垣に限られた白砂の平臺を北に面ふて折れ、社務所を左手

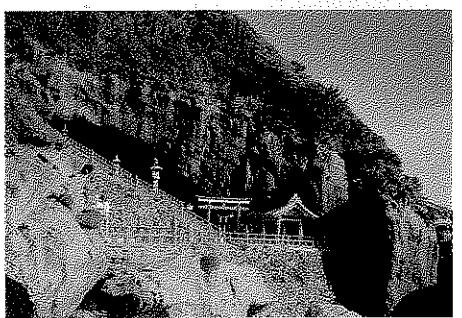
に見て、一の鳥居を入り、太鼓形の木玉橋際で、一同宿の下駄や草履を脱ぎ、跣足になる。冷やりとした感覚が足裏から突と脳天に走つて、引きしまつた気分になる。

肅んで太鼓橋を渡り終ると、数十級の石段が、緩い勾配を以て海の方へ山根岩根の方へ導く。石段を護して玉垣が共に下り、垣の外には無数の紙の小旗がずらりと挿されて居る。石段を下り切ると窟の口。こゝに御手洗の水に双手を淨め、二の鳥居を入つて、窟内本殿に進む。

南日向の陸から太平洋にさし出でた一座の岬、頂から一面簾々と松を被た其根方が剥けて岩の肌を露はした處、何時の太古の世からか剥られて、東西二十一間、南北十六間、高さ一丈八尺の窟が口を開いて居る。東向き太平洋に正面して、ば

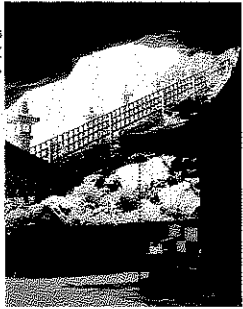
つくりと大輪の口を開いた此窟内に、檜皮葺丹朱塗の矮い愛らしい社殿が建て籠められて居る。

傳説に、此窟は豊玉姫が鵜茅葺不台尊を生み玉ふた産舎の跡、と云ふ。祀られてある主神は即ち鵜茅葺不台尊、創立は人皇第十代崇神天皇の昔になつて居る。



傳説は兎に角、一步窟内に入る心地は、取りも直さず大自然の胎内に潜る心地である。自然の胎内に入った自然の子は、言ひ難い厳肅な感と澄澗とした欣喜に満ちて自己と周囲を見廻

はすのである。劫初にも斯く照つたか、大正二年秋月の今しがた海から生れた朝日が斜に嫩かにさし込んで、窟内の砂は黄金を鋪き、矮い社殿は朱の色艶に照り榮えて居る。



押扁めたかのやうに殊の外床低く、よろづ小體に窟内に縮こまつた此社殿を見て居ると、母胎に手足縮めて頭を膝にくつつけた胎児を見るかの様に愛らしい。

素足に冷たい砂を踏みつ、窟内を歩き廻る。隅々にはほの暗く、巖壁から冷たい雪がぼたりぼたり落ちて居る。ちつと立つて居ると、太平洋の響が轟——轟と大きな拍手をつくつて窟内に押込んで来る。

來時に宿の主婦して申入

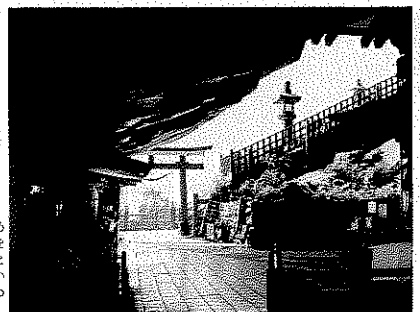
れて置いた御神樂の仕度が出來た知らせに、いざとばかり素足の砂を拂ふて、床の低い拜殿ににじり上り、御神樂を拜見する。男舞である。簫笛の音の澄んだ中を、太平洋が轟——轟と雄大無双の鼉鼓をうつ。神代の氣分が總身に浸みわたる。伊勢の憾が此處で響らされた氣がする。

舞終つて樂止み、舞人の御幣が頭の上を軽く觸れた時、自然に頭が下つた。土盃の神酒を戴く。焼酎であった。



参拜終つて、一步洞窟の胎内を出ると、天空に海洋に漲る朝の光が邊際もなく

身を包む。今母胎を出た赤兒の如く、我儕は眩しい光に瞬いた。

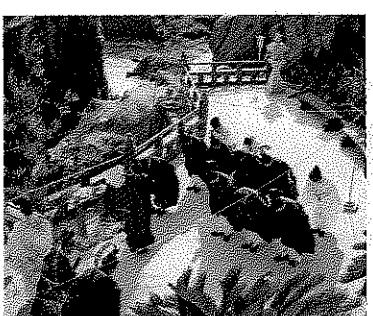


玉垣の外には、夫婦石、雀石、扇石、二柱石、樹形石、御船石、などそれ々の状態をした黄土色の巨岩が、白波沸ぎる海中に立ち蹲み、さながら神窟を護して攻寄する太平洋と永劫の闘をつけて居る。東に向ふて光の中にしばらく無念無想に立たすむ。

千早小る  
神代の昔ながらに  
鵜戸の窟に朝日さすなり

# 例祭 齋行

二月一日、清々しい靑空の下例祭が斎行された。責任役員・総代を始め内外の神社関係者や崇敬者等多数参列の中、祭典に先立ち柳生新影流兵法第十四代宗家・長岡鎮廣氏他六名により劍舞が奉納された。



午前十時三十分、周囲を潮騒が包み込む当宮独特の社装の中、宮司祝詞奏上、献幣使祝詞奏上と続き、舞樂「納曾利」が奏舞された。奉祝行事として、同日に四寸五分の的を四間半の距離より射抜く「第三十五回鵜戸神宮奉納四半的大会」を開催、四四チーム・二〇二名が参加した。



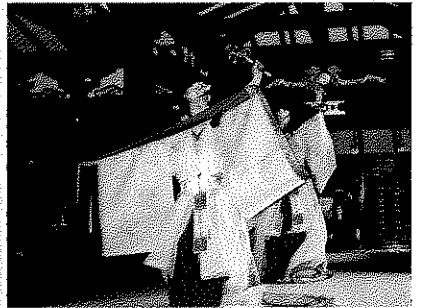
又、二月四日には「第五十四回剣法発祥鵜戸山頭彰剣道大会」を開催、団体一八チーム・総勢一三〇〇名が出場した。両日とも境内は参詣者と参加者で賑わった。



### 祈年祭

二月十七日、穀物の豊かな実りと我が国の安泰を祈る祈年祭が執り行われた。責任役員を始め農業関係者等多数の参列を賜り、午前十時三十分より斎行。今年の豊作を祈り、巫女による「浦安の舞」が奏舞された。

日本は農耕を文化の基として、現代まで継承発展してきた。この祭りは古より執り行なわれている重要な祭典である。



### 昭和祭

昭和天皇の御誕生になられた四月二十九日が、今年より「みどりの日」から「昭和の日」に改正された。これにともない、昭和天皇の御聖徳を仰ぐため「昭和祭」が斎行された。

当日は責任役員・総代等の参列を賜り、宮司祝詞奏上後、宮司により「朝日舞」が奏舞された。

祭典終了後には制定記念植樹が行われ、社務所横の広場に「紅花車輪梅」、吾平山御陵遙拝所に「松」が植えられた。



### 御田植祭

三月十五日、御田植祭が斎行された。早場米の為、二月に播種祭（種蒔き）を執り行い、三月上旬には御神田清祓い祭を斎行、順調に準備が整い無事にこの日を迎える事となった。



当日はあいにくの雨だったが、役員総代・御神田関係者・地元住民等多数の参列を賜った。又、JAはまゆうの女性職員は早乙女で奉仕頂き、約二アールの神田にコシヒカリ・餅米が丁寧に賑やかに植えられた。

七月中旬に抜穂祭（稲刈り）を予定している。

### 春の縁日大祭

三月二十四日、春の行楽シーズンを迎え早朝より家族連れや観光団体の参詣者で賑わいを見せる中、午前十時三十分より春の縁日大祭が斎行された。

この祭典は昭和二十九年以降途絶えていたが、平成十一年に復活、毎年春と秋に執り行っている。



奉祝行事として舞楽「納曾利」、巫女舞「豊菜の舞」、この地区に代々伝わる「鵜戸さん獅子舞」、日本民謡協会日南支部会員による「シャンシャン馬道中唄」が奉納された。

参列者始め参拝者は、日常目にする事の無いこの芸能に感動していた。



### シャンシャン馬道中唄全国大会

民謡「シャンシャン馬道中唄」の全国大会決勝戦が、三月二十五日当宮儀式殿にて行われた。

大会は今年で二十一回目となり、前日に行われた予選会で年齢ごとに勝ち抜いた約二〇〇名が会場を埋め、熟練された歌声で終日盛り上がった。

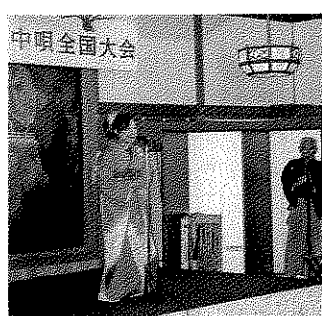
境内では、明治中頃まで風習として行われていた「シャンシャン馬道中」の鵜戸さん参りが再現された。



### 井山忠行氏からの手紙



「バリ観光用絵はがき」



今年の新婚夫婦は、この日に当宮神前にて結婚式を挙げられ、そのまま道中再現に参加。親族等も加わり大変盛り上がった。

第三信  
杉田秀清様  
二六、JAN、二〇〇〇  
Bali

冬の鵜戸の海は又格別に美しいことでしょう。熱帯の海には求むべくもない清らかさと雄大さを持っているのを少年時代の宮崎での生活と共に思い出します。

八九年のバリ島での初めての個展以来、今回は二度目の個展になるのですが、その準備に入り、前回でも痛感したのですがこのよう

な文化的な催しがバリ島の  
人々にとっては、先ずは観  
光と強く結びついているこ  
とです。たまたま目にした  
日本の新聞によりますと、  
九八年統計で国内総生産に  
占める観光収入が世界第一  
位はインドネシア・・・九  
六%、二位シンガポール・・・  
七、七%、三位チエコ・・・  
七、一%と続き、日本は調  
査四六カ国のうちで最下位  
の〇、二%ということでした。  
この数字を見て僕はびっく  
りしました。たしかに日本  
はこの五〇年余の驚くべき  
経済発展により、観光収入  
などアテにしないで良くな  
ったのは事実でしょう  
が、それにしても日本がい  
かに外国人にとって魅力の  
ない国になったかというこ  
とです。



たしかにいわゆる外人に  
会って話すと、彼らは例外  
なく日本に行ってみたくて  
います。ではなぜ自動車  
や電気製品やコンピュー  
ターなどの優れた文化を持  
つ日本が彼らの足をはばん  
でいるのか？外国で暮らし  
ている人間は各々がその自  
国を代表しているわけであ  
る。他国人の日本論は僕  
に降りかかってくるわけだ  
す。話していると日本人で  
ある僕は他国の人にうらや  
ましがられていることを感  
じます。僕の結論はこうで  
す。日本に魅力がないので  
はなく日本に行けないので  
す。行きたくても行けない  
という情けない顔の「外  
人」。

どうケチつても一日一万  
円・・・一〇〇ドル必要。  
交通機関は高いし旅館もレ  
ストランも。これではお手  
上げ。  
前の手紙でも書きました  
が、インドネシアはインド  
ネシアの人々には失礼です  
が、国家として情けないも  
のがあります。一〇〇年く  
らい昔の日本人も似たよう  
なメンタリテイだったかと  
思はせるようなことが度々  
あります。暮らしている  
とても尊敬出来ない。  
しかし僕はいつも思うの  
ですが、そういうことに開  
ならず、どうしてこの国は  
かくも魅力的なのか。



第四信  
杉田秀清様  
七、Feb、二〇〇〇  
Bali

八月の個展の際にはぜひ  
遊びに来て下さい。オーブ  
ニングセレモニーには、バ  
リ島の神々には当然です  
が、日本の神々の祝福と  
加護をお願いしたいもの  
です。たくさんの日本人  
がバリに来てバリの神々に  
出会っているのに、バリの  
人々は日本の神々に出会う  
ことは不可能なのです。  
いつも日本に対する思い

入れが強く、かたい手紙  
になってすみません。物質  
の文化と精神の文化の綱引  
きにおいてバリ島の人に出  
会うのは意味深いと思いま  
す。宮崎の友人知人による  
しくお伝え下さい。  
井山忠行  
〔六段〕七段の引用は九九  
年十一月十六日 日経夕刊  
「世相ひとひねり」による〕  
僕の方は先月末から今月  
にかけて日本から二人の友  
人の来訪があり、お土産の  
日本酒と焼酎で日本語の会  
話を楽しみました。平常は  
終日油絵の制作に没頭して  
いて孤独に暮らし、会話を  
いったら下手な英語とイン  
ドネシア語で日常の用件を  
済ます程度なのでやはり日  
本語はごちそうのうちに入  
ります。  
さて、それはそうと鵜戸  
神宮の壁画は山幸彦と豊玉  
姫のパートを描き始めて  
十日ほどになります。た

て一、五メートル×横一、  
六七メートルのキャンバス二  
枚に油絵でやっています。  
山幸彦の方は樹に登ってい  
る男のスケッチから始め  
ました。大きなたくましく  
美しいバリの男がモデルに  
なってくれました。豊玉姫  
の方は昨年宮崎に滞在した  
折すでにイメージが固まっ  
ており、スケッチも多数出  
来ている心配は無かったの  
ですが、いざ原寸でやっ  
てみると実際の日本女性より  
もはるかに西欧人女性のポ  
リウムに近い感じになり  
ました。強くたくましい男  
と豊満な女にしたいと思っ  
ています。古事記によると  
山幸彦はどちらかという  
色白のヤサ男ということに  
なっており、青木繁の油  
絵『わたつみのいるこの宮』  
でも男か女か判別しがたい  
ほどのなよやかさです。僕  
はこれらのイメージにとら  
われず、もっと自由に現代  
を生きる人物、かくあれか

しと思う人物像を描くこと  
にしました。清らかなすこ  
やかさ、生命観を描こうと  
思っています。現代の都会  
人、言い換えればフアッ  
ション雑誌のモデルの美し  
さとは別種の美しさを思い  
描いています。もつと直接  
的に分かりやすく言えば、  
三島由紀夫が小説『潮騒』  
で描いた主人公の男女のイ  
メージです。



たまにアトリエを訪れる  
人々にこの作品のテーマを  
説明するのは目下のところ  
僕の楽しみの一つです。世  
界中の神話の持つ普遍性は  
だれをも人間一般の真実と  
して、どんなに遠い人々を

も近づけるものです。ここ  
では日本の神話を知って  
いる人はほとんどいませ  
ん。しかしほとんどの人が  
程度の差こそあれ自国のそ  
れは知っているものです。  
今、僕にはこのことに関連  
して一つ残念なことがあり  
ます。それは鵜戸の小学生  
たちが、鵜戸で描いている  
僕の絵を見に来た時、その  
テーマについてほとんど知  
らなかつたことです。バリ  
島の子供たちのほとんどが  
マハーバーラタとラーマー  
ヤナの物語を知っているの  
に。

新月の夜の闇はますます  
深く、静かです。  
井山忠行

平成十九丁亥年鵜戸神宮神事一覽表 (七月〜十二月)

日	時間	祭 祀	月
1日	10時	月次祭・縁日祭・神穀感謝祭	七月
18日	10時30分	縁日祭	八月
8日	10時	一之卯	八月
1日	10時	一之卯	九月
6日	10時	一之卯	九月
17日	10時	敬老祭	十月
23日	10時	秋分祭・秋季皇靈祭	十月
1日	10時	月次祭	十一月
12日	10時	一之卯	十一月
13日	11時	中祭	十一月
17日	9時30分	神嘗奉祝祭・神嘗祭	十一月
19日	10時	福智神社例祭	十一月
27日	10時	神嘗祭	十一月
1日	10時	月次祭	十二月
3日	10時30分	中祭	十二月
3日	10時30分	中祭	十二月
6日	10時	立冬祭	十二月
8日	10時	神嘗祭	十二月
15日	10時	七五三祭	十二月
17日	10時	儀式・殿鎮座記念祭	十二月
23日	10時30分	新嘗祭(五穀豊穡感謝祭)	十二月
24日	10時	水神祭	十二月
1日	10時	月次祭	一月
3日	10時	火産靈神社例祭	一月
11日	10時	一之卯	一月
15日	10時	門守祭	一月
23日	10時	天長祭	一月
27日	10時	中祭	一月
31日	15時	大祓祭	一月
31日		除夜祭	一月



# いさみ太鼓奉納

五月五日こどもの日に、地元小学生を中心に多くの児童がハッピーに鉢巻姿で『いさみ太鼓始めませ〜』の掛け声と共に「いさみ太鼓」を奉納した。

この行事は、昭和五一年から恒例行事として毎年行われ、当宮下の荒磯に打ちつけ砕ける波の様子を、大小の太鼓と横笛・鈴で表現。これに合わせて獅子が舞い踊って盛り上げた。

子供達は、大神様の恵みと祖先の恩に感謝し、自らの健やかな成長を祈って元気よく奉納した。



## 責任役員 氏子総代改選

五月一日に氏子総代会、五月十四日に崇敬者総代会を開催、任期満了に伴う責任役員改選が行われた。又、これに先立ち、各地区において総代の改選を行った。

それにより、次の方々が選ばれ委嘱式を齎行した。任期はそれぞれ三年である

記

責任役員を委嘱します。

平成十九年六月一日

- 田中 静・植野章一
- 横山忠男・蛭原清仁
- 長友 治・湯浅智視
- 和田 皓・松浦剛士
- 氏子総代を委嘱します。
- 平成十九年五月一日
- 長谷川弘・平下邦憲
- 後藤邦治・川瀬満政
- 村中俊二・高橋勇一
- 長友 泰・湯浅 巖
- 磯上英機・泉 昭信
- 湯浅勝好

## 表彰

四月十八日、神社本庁に於いて、責任役員田中静氏が敬神功労章を受章された。これは永年の功績が認められたものであり、当宮としても大変光栄なことである。



## 新職員紹介

巫女 徳丸春菜  
生年月日

昭和六十三年四月十四日  
最終学歴

宮崎学園高等学校  
抱負

勤労と礼節の心を忘れずに日々精進していきたい



ご結婚おめでと  
うございます

串間市 城 信太郎様

久美子様

(一月十一日)

千葉県 稲門 啓明様

絵 美様

(三月二十五日)

大分県 瀬戸 修二様

美 香様

(五月三十日)

日南市 磯野 英志様

亜 矢様

(六月二十四日)

## 命名

ご誕生おめでと  
うございます

宮崎市 鈴木 美佑

(二月五日生)

宮崎市 濱砂 翔

(三月二十九日生)

宮崎市 徳澤 敬

(四月十八日生)